

登録コード	E7151300	開講年度	2026			
授業科目	心理学実験				担当教員	島田 英昭
英文授業名	Experimental Methods in Psychology				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・5時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				心理学実験に関する基礎的な知識を得ることで、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				心理学実験に関する基礎的な知識を得ることで、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	代表的な5つの心理実験を取り上げ、倫理的配慮、材料の作成からデータ収集と分析、報告書の執筆までの一連の流れを演習する。報告書執筆法については、ピアレビューを通して理解を深める。反転授業で行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス（教室講義）、心理実験とは（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】 第2回：研究倫理（オンライン・オンデマンド講義） 第3回：実験説明（ 系列位置効果；オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】、実験材料作成（ 系列位置効果；教室演習） 第4回：実験結果分析（ 系列位置効果；教室演習）、実験レポート作成（ 系列位置効果；自由演習） 第5回：実験説明（ ミュラーリヤー錯視；オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】、実験材料作成（ ミュラーリヤー錯視） 第6回：レポート解説（ 系列位置効果；教室講義）、実験結果分析（ ミュラーリヤー錯視；教室演習）、実験レポート作成（ ミュラーリヤー錯視；自由演習） 第7回：実験説明（ ストループ効果；オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】、実験材料作成（ ストループ効果；教室演習） 第8回：レポート解説（ ミュラーリヤー錯視；教室講義）、実験結果分析（ ストループ効果；教室演習）、実験レポート作成（ ストループ効果；自由演習） 第9回：実験説明（ ブラウンピーターソンパラダイム；オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】、実験材料作成（ ブラウンピーターソンパラダイム） 第10回：レポートレビュー説明（オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】、実験結果分析（ ブラウンピーターソンパラダイム；教室演習）、実験レポート作成（ ブラウンピーターソンパラダイム；自由演習）、レポートレビュー予習（ ストループ効果；自由演習） 第11回：レポートレビュー討論（ ストループ効果；教室演習） 第12回：実験説明（ スクリプト；オンライン・オンデマンド講義）【遠隔等】、実験材料作成（ スクリプト；教室演習） 第13回：実験結果分析（ スクリプト；教室演習）、実験レポート作成（ スクリプト；自由演習）、レポートレビュー予習（ ブラウンピーターソンパラダイム；自由演習） 第14回：レポートレビュー討論（ ブラウンピーターソンパラダイム） 授業の進め方についての注意事項 ○受講者の人数、関心、時事的な背景に応じて内容を変更することがある。 ○教育実習等の教育学部必修に位置づけられる科目の履修により欠席する場合には、担当教員が相談を受け、指示を行う。 ○授業アンケートを実施する。 ○【遠隔等】の時間数は、総授業時間数の半分以上とする。 授業に関するお願い ○授業で得られた学習データを、教育、研究、広報の目的で利用することがあります。データは匿名で扱います。学術論文等、外部で発表することがあります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○教育、研究、広報の目的で、ビデオ、写真撮影を行うことがあります。ビデオ、写真を外部に公表する可能性があります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○心理学関係の実験・調査への協力をお願いします。また、実験・調査に参加し結果を知ることの教育効果に対し、コースクレジットとして成績評価に参入することがあります。詳細は依頼時に説明します。依頼は拒否することが可能であり、参加しないことにより成績評価が不利になることがないように運用します。					
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 レポート（80%）、課題の取り組み状況（20%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 心理学実験に関する基礎的な知識を評価する。					

(6)成績評価の方法	●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。
(7)成績評価の基準	【卓越している】心理学実験に関する基礎的な知識について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】心理学実験に関する基礎的な知識について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】心理学実験に関する基礎的な知識について、高い水準にある。 【その水準にある】心理学実験に関する基礎的な知識について、一定水準にある。
(8)事前事後学習の内容	●講義に関連する内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	●現代教育コース発達・教育ユニット、心理支援教育コースの学生を対象とする。それ以外の学生が受講を希望する場合は相談すること。 ●eALPSを常時利用する。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	原則としてメールで対応する。連絡先はeALPSを参照する。
【教科書】	●日本心理学会 (2022). 執筆・投稿の手びき (2022年改訂版) 以下のURLから無料でダウンロード可能 https://psych.or.jp/manual/ ●小宮あすか・布井雅人(2024). Excelで今すぐはじめる心理統計—簡単ツールHADで基本を身につける—第2版 講談社
【参考文献】	内容に応じて随時紹介する。